

一般社団法人 国際社会福祉協議会日本国委員会

平成27年度事業報告

1. ICSW 本部、北東アジア地域、その他各国会員との連携強化

(1) ICSW本部による事業推進への協力

① ICSW会長選挙

- * 2015年12月、現会長の任期満了にともない、電子的方法による選挙が公示され、ヨーロッパ地域から2名の立候補があった。
- * 日本国委員会は、候補者に係る添付書類について、特にICSWの財政問題に係るスタンスをいっそう明らかにすべく、追加書類の提出を求めた。
- * 投票結果：エヴァ・ホルムバーグ-ヘルストロム（Eva Holmberg-Herrstrom 女史（スウェーデン）が次期会長に選出された。

② ICSW分担金の拠出（2015年度分）

ICSW本部より請求された2015年度の日本国の分担金（US\$15,794.56 または€12,737.6）について、本会の負担分^(*)€ 6368.80：821,893円拠出した。

年	A=B+C 日本の会費合計	B 国庫負担金	C 本会支出
2015 (H27)	15,794.56 (€ 12,737.60)	7897.28 (€ 6,368.80)	7897.28 (€ 6,368.80)
2014 (H26)	17,276.00	8,638.00 (€ 6,305.12)	8,638.00 (€ 6,305.12)

単位：米ドル。平成26・27年度の本会支払いはユーロによる。

* ICSW会費（分担金）は、国連の会費スケールをベースに加盟団体をカテゴリー化し、口数が定められている。日本は最も高いグループに属し、16口を分担している。

* ICSWの分担金1口の金額は物価スライド方式のため、毎年、若干異なる。

（2010年基準額：US\$1048 /€ 723・2015年基準額 US\$ 987.6/€ 796.1）

* 日本国分担金（16口）を日本国委員会・厚生労働省で折半して納入している。

【参考】日本の分担金の推移

2008年=US\$20,000 2009年=US\$14,400 2010年=US\$16,768

2011年=US\$15,264 2012年=US\$16,096 2013年=US\$15,995.20

(2) ICSW北東アジア地域（NEA）各国との連携

① 2015年 ICSW北東アジア地域（NEA）会議への参加

日 時：2015年11月5日～6日

会 場：香港 デューク・オブ・ウィンザー社会福祉会館講堂・会議室 等

参加者数：約100名（含：香港社会福祉協議会関係団体よりの参加者）

テーマ：北東アジア地域における長期ケア（介護）～政策・サービスと協働の可能性

主なプログラム：

1) 各国からの基調報告：

テーマ：北東アジア地域における長期ケア（介護）に関する政策・サービス・すぐれた実践の共有」

- a) 車韓国社会福祉協議会会長/ICSW北東アジア地域会長
「高齢者の長期ケア（介護）に関する東アジアモデル」
- b) 湯川智美 社会福祉法人六親会常務理事
「日本における介護保険制度の課題と動向～2025年度にむけて」
- c) フェン台湾社会福祉協議会会長
「台湾における長期ケア（介護）政策ならびにすぐれた実践」
- d) チョウ香港聖公会協議会副部長
「香港における高齢者ケアの課題」

モデレーター：イレーネ香港社会福祉協議会副会長

2) 指定討論者によるコメントおよびパネルディスカッション・質疑等：

テーマ：北東アジア地域における「長期ケア（介護）」に係る今後の協働にむけての課題と機会

指定討論者：チュイ香港大学准教授/《いずれも香港》

パネラー：湯川智美社会福祉法人六親会常務理事/サンウッド保健福祉研究所長期ケア政策研究センター所長(韓国)/チェン東海大学社会学部准教授・チャン国立台北大学社会福祉学部准教授（いずれも台湾）

モデレーター：チュア香港社会福祉協議会会長

3) 施設見学：

- ①チアフル・コート（サービス付高齢者住宅）
- ②東華三院ジョッキー・クラブ・リハビリテーション複合施設
（100年余の歴史をもつ大規模法人による主として高齢者ならびに障害者を対象とした施設群）

4) 交流会：

*本会より、高井康行理事長、山田秀昭常務理事ならびに事務局2名が参加し、NEA加盟国メンバー等と情報交換・交流などを行った。

*日本よりのテーマ発表者として湯川智美社会福祉法人六親会常務理事を派遣した。湯川氏は基調報告者ならびにパネルディスカッションのパネラーとして参加し、日本の知見・経験交流等に寄与した。

* 施設訪問では、サービス付高齢者住宅、の見学等を行った。

②2015年ICSW北東アジア地域（NEA）総会への参加

日 時：2015年11月5日

会 場：香港 デューク・オブ・ウィンザー社会福祉会館会議室

総会参加者：14名

[韓国4（2）名／日本4（2）名／台湾3（1）名／香港3（1）名]

*（ ）内はオブザーバー数

主たる議題：

1) ICSW・NEAの活動状況（NEA会長の動静・財政等）

* 車会長より、会長としての活動（主として、各種会議への参加）
ならびに、2012年度NEA地域ICSW本部還付金の返上ならびに2013
年度還付金の入金について報告

* ジョイス財務担当理事より、NEAの財政状況は健全に推移してい
る旨報告

2) 各国の活動報告

* 日本 高井 康行ICSW日本国委員会理事長

* 台湾 ジョイス・フェン・ウェンICSW台湾会長

* 香港 チュア・ホイ・ウェイ香港社会福祉協議会会長

* 韓国 ホン・ボン・チャ韓国社会福祉協議会会長

3) NEA地域ニュースレター

* NEA地域ニュースレターは、第2号が2015年4月に刊行されたが、
編集長であったベリンダ女史（香港）の退職に伴い、新体制を
必要とすることから、新編集長に韓国・藩女史を選出。

2016年6月の世界合同会議にあわせて次号刊行をめざすことで
合意した。

4) 新加盟の動向

* モンゴルの社会福祉団体連合会長より車NEA会長に対して再三、
加盟の意向が伝えられていること、今後手続きに則って加盟に
向けた動きが正式に進められる予定であることが報告された。
NEAとしては、正式な手続きを待ちつつ、原則としては受け入れ
る方向性を確認。

* 車会長より、中国も加盟の意向があるようだが、正式な動きに
はなっていない旨の報告がなされた。

NEAとしては、受け入れる場合には、台湾・香港のステータスの現状維持が最低条件であることを確認。

- 5) 次回NEA地域会議 → 2016年は合同世界会議のみ
2017年は台湾にて開催予定
- 6) 次回NEA地域総会 → 2016年合同世界会議中（韓国）

2. 国外へのわが国の社会福祉事業の紹介

- (1) 海外社会福祉関係団体・個人の訪日・視察受け入れ等の調整・協力
全社協国際部と協働し、以下の訪日団体に対し、施設訪問等のプログラム・コーディネートあるいは日本の福祉に係る講義などを実施した。

- 1) 香港教育大学訪問団 2015年5月13日（13名）
講義「日本の民間社会福祉/高齢者福祉の概況」
国際社協日本国委員会 渋谷篤男事務局長
- 2) 韓国老人福祉館訪問団 2015年8月26日、27日（17名）
施設訪問コーディネート：
（社福）西新井だいわ会/（社福）信愛報恩会 信愛のぞみの郷
- 3) 中華民国智障者家長総会 2015年10月26日～29日（29名）
講義「日本の民間社会福祉/障害者福祉の概況」
国際社協日本国委員会 渋谷篤男事務局長
施設訪問コーディネート：
（社福）すかい スクラムあらかわ/（社福）荒川区社会福祉協議会
（社福）滝乃川学園/（社福）けやきの杜
- 4) 香港ポック・オイ病院社会福祉部 2015年11月11日～13日（26名）
講義「日本における高齢者支援機器の状況」
車椅子シーティング・コンサルタント/（元）国立障害者リハビリテーションセンター研究所高齢障害者福祉機器研究所
長 廣瀬秀行氏
施設訪問コーディネート：
（社福）サン/（社福）浴風会/（社福）ふきのとうの会・老人給食協力会 ふきのとう/（社福）長岡福祉協会 福祉プラザさくら川
（社福）賛育会 東京清風園

- (2) 本会ホームページ等を通じたわが国の社会福祉事業の紹介

3. 海外社会福祉事業に関する情報提供

全社協国際部と協働し、以下について実施した。

- (1) 国内社会福祉関係団体・個人による海外社会福祉団体等への視察・調査等の調整等協力
 - 1) 日本福祉施設士会九州ブロック グループ 11月
* タイ＝クロントイ地区内福祉財団等訪問への協力
 - 2) 社会福祉従事者海外派遣プロジェクト勉強会ワーキンググループ
* ベトナム＝ケア・インターナショナル訪問への協力
 - 3) 社会福祉事業研究開発基金
* タイ＝助成事業への協力
- (2) 国際社会福祉協議会ニュースレター/北東アジア地域（NEA）ニュースレターを中心に、海外の社会福祉の情勢や社会保障、社会開発についてのHPを通じての情報提供
* 国内外向けのそれぞれホームページの基本情報を更新した。

4. 本会の運営にかかわる会議の開催

- (1) 社員総会の開催
第7回：平成27年6月9日（全国社会福祉協議会特別会議室）
- (2) 理事会の開催
第10回：平成27年5月19日（全国社会福祉協議会特別会議室）
第11回：平成28年3月28日（全国社会福祉協議会特別会議室）
- (3) 監事会の開催
平成27年5月7日（全国社会福祉協議会第六会議室）